

■工事成績評定の高得点獲得のためのポイントを学びました。



高い品質目標の施工プロセスを構築するための施工計画書の作成方法の他、効果的な創意工夫の実施、早期の書類作成など、高成績を得る取組方法を学びました。

なお、本研修はWeb会議システム（Zoom）を使用したオンラインセミナーとして開催しました。

- 1 日時 令和4年7月6日（水）13：30～16：30
- 2 場所 ライブ配信（会社等からオンラインで受講していただきました）
- 3 対象者 岐阜県内に本店が所在する建設関連企業の社員
- 4 参加者 23社 39名
- 5 内容

時間	研修内容	講師
13:00～13:30	（受付）Zoomの設定や操作について説明があります。13時20分までに接続してください。	
13:30～ ～16:30	<ol style="list-style-type: none"> 1. 監督員の業務とは 2. 工事成績評定の評価の仕組み 3. 監督員への対応 4. 施工条件の把握 5. 施工計画書による施工プロセス構築 6. 効果的な創意工夫とは 7. 創意工夫の施工計画書 8. 施工管理書類の早期作成と提出 9. 高評価される技術者の取組 10. ICT土工と建設DXの実践 	㈱建設経営サービス 黒岡 茂雄氏
16:30	閉講（アンケート記入）	

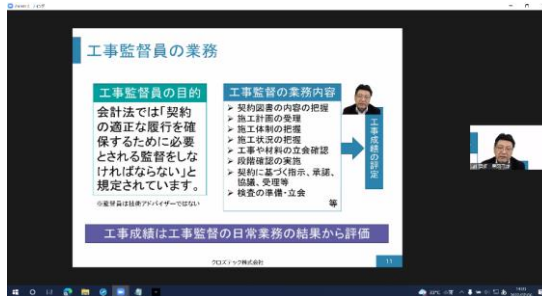
6 主催 建設ICT人材育成センター（(公財)岐阜県建設研究センター内）

7 CPDS 3ユニット（認定講習）

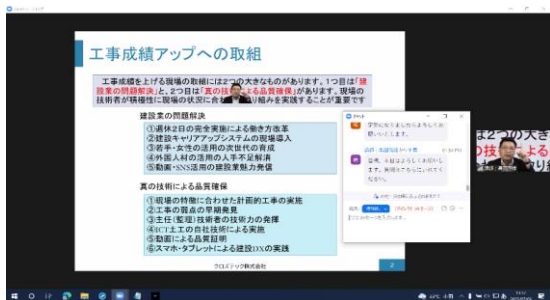
8 研修状況



講師
建設経営サービス 黒岡 茂雄氏



資料解説
スライドはポイントが大きく、図も利用されており、わかりやすい内容でした。



双方向型研修
Zoomチャット機能を利用して、受講者からの意見、回答を求めることで双方向型の研修として実施しました。



動画視聴
最後に動画で事例紹介をしていただきました。途中、講師がコメントを入れることで、ポイント解説もありました。

9 受講者の感想

- ・現場における管理業務について、必要な要点が理解でき、とても良い講習でした。
- ・業務に取り組む姿勢の甘さを認識できた。
- ・所々チャットで質問受け付けたり、一方的な講義でない所がよかった。
- ・ICTの実用性の良さ・施工計画の見直し、また社会貢献での見直しに再確認をします。
- ・施工計画の見直しの必要性を言われたのが非常に印象に残りました。